

つなぐ  
「繋」 ささえあい  
すべての世代を「つなぐ」やさしい街に！

神戸市会議員  
(垂水区)

つよし  
たなびき 剛

【事務所】

〒655-0048  
神戸市垂水区西舞子 9-15-23  
TEL: 080-6111-9970  
✉ tanatsuyo02@gmail.com

編集・発行：こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

## 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策補正予算（第2弾）の概要

令和2年度第1回定例会市会6月議会が開催され、神戸市一般会計補正予算等が議決されました。今年度は、「総務財政委員会」、「大都市行財政制度に関する特別委員会」に所属となり、神戸市会議員として2年目を迎えました。新型コロナウイルスの第2波、第3波に備えながら、魅力ある神戸市となるよう全力を尽くしてまいります。



### 検査体制の強化

- PCR検査体制の拡充 1日24件→1日462件へ拡大
- ウォークスルー方式によるPCR検査の導入
- 戦略的サーベイランス体制の整備
- 救急外来や手術・分娩等が必要な方に対してPCR検査を実施



### こどもたちの健やかな成長への支援

- 妊婦健康診査等に伴う  
外出時に利用するタクシー利用料を助成（1万円/1人）
- 放課後等デイサービス、放課後児童クラブの  
時間延長にかかる運営費補助及び利用料減免



### 医療提供体制の安定的確保

- 中央市民病院に重症患者等の受け入れを行う  
臨時病棟を整備（病床：36床）



### 新しい生活様式への対応

- 全小中学校等の児童生徒に  
ノートパソコン等を1人1台整備
- 学校再開に伴う学びの保障と感染症対策として、  
全小中学校（245校）へ学習指導員の追加配置と  
スクールサポート・スタッフの配置を拡充（90校→160校へ）



### セーフティネット機能の充実

- 児童扶養手当を受給するひとり親世帯等に対して5万円  
（第2子以降3万円加算）を給付



Check 補正予算のさらに詳しい内容は  
神戸市のホームページでご確認ください。



## 新型コロナウイルス感染症対策に関する相談窓口

新型コロナウイルス 専用健康相談窓口	078-322-6250 (24時間対応)	子育て相談ダイヤル (土日を含む24時間対応)	神戸真正塾 078-341-6493 しらゆり 078-594-7785 おるおる ステーション 078-371-4351
くらし相談（垂水区役所）	078-708-5151(代) (平日9:00～17:30)	こども急病電話相談 月～金：20:00～翌7:00 土 曜：15:00～翌7:00 日・祝：9:00～翌7:00	078-891-3499
神戸市消費生活センター 生活用品の消費・詐欺に関する相談	① 188 ② 078-371-1221 (平日9:00～17:00)	風評被害を受けた方の相談	078-322-5234 (平日8:45～17:30)
医療従事者・社会福祉施設 従事者等へのこころの相談ダイヤル	078-322-5273 (平日15:30～20:00) ※祝祭日・年末年始除く	緊急小口資金 新型コロナウイルス 特例貸付コールセンター (休業や失業等により収入が減少した方)	078-262-1626 (9:00～12:00) (13:00～17:00)
新型コロナウイルス感染症の影響に よる市税の納税猶予制度の相談	078-647-9475 (平日8:45～17:30)	DV(配偶者等からの暴力) の相談	神戸市 078-382-0037 (9:00～17:00) ※12/28～1/4を除く毎日 内閣府 0120-279-889 DV相談+(プラス) (24時間受付)
中小企業・小規模事業者 のみなさんの相談	ひょうご・神戸経営相談センター 078-977-9079 (平日9:00～17:00)		

※相談窓口の情報は日々更新されます。各窓口にて詳細をご確認ください。

# 令和2年第1回定例市会

2月議会では、  
こうべ市民連合議員団を代表して  
新設される垂水体育館  
(令和4年供用開始)について  
一般質問を行いました。



## 新垂水体育館の整備について

**質** 新垂水体育館へのアクセスについては、快適かつ安心・安全な歩行者動線を確保する必要がありますがいかがでしょうか？

**答** 新垂水体育館への歩行者動線については、交通量の多い国道2号を安全に横断する方法や夜間における明るさの確保、案内表示に課題があると認識している。国道2号以南から新体育館までの間については、夜間照明の増設を進めるとともに、快適な歩行者空間となるよう路面の美化等も進めていきたい。

**質** 福田川交差点の歩道橋の整備(幅員が狭く自転車がすれちがいにくい)と平磯緑地の照明を含めた整備を行い山陽東垂水駅からのアクセスについても快適かつ安心・安全なルートを確認すべきと考えますがいかがでしょうか？

新垂水体育館・外観南西面



**答** 構造的な課題(幅員が狭い、スロープの勾配が急)と合わせ、交通量の多い国道2号をいかに安全に横断できるのかといった点も踏まえ、歩道橋や横断歩道が現在の形状でいいのか検討していきたい。また、平磯緑地についても夜間照明の妨げになっている樹木の剪定や新たな照明の設置など検討していく。

**要望** 特に、歩道橋については幅も狭く老朽化しているため早急に対応いただき、誰もが安心・安全に新垂水体育館へ行けるよう歩行者動線の確保を検討いただきたい。

## 明るさの確保や構造的課題の多い現在の状況

【平磯緑地】



【福田川交差点歩道橋】



市民が安心して利用できる  
平磯緑地の歩行者空間、  
歩道橋の整備を実現し、  
安心・安全なルートの確保を！

# 垂水区活性化プラン～生まれ変わる海辺のまち～

令和2年度予算では、JR・山陽「垂水駅」周辺の再整備について承認されました。人口減少が進む垂水区において、駅周辺の公共・公益機能を充実させることが重要であります。再整備については様々な課題があると考えますが、幅広く区民の皆さまの意見を取り入れていくことで垂水区が生まれ変わり、人口減少にも歯止めをかけることができると考えています。

### 垂水駅周辺の住機能の強化

駅周辺用地を活用した住宅供給～令和6年ごろまで～  
人口1,500人分(約550戸)を供給(賃貸住宅を含む)

### 子育て支援拠点の整備

「おやこふらっとひろば」  
(垂水勤労市民センター体育室跡)の開設  
(令和4年ごろまでに整備予定)

### 中核的医療施設の配置

垂水体育館・垂水養護学校跡地に産科・小児科を含む  
急性期医療を担う中核的医療施設の配置

### 垂水図書館の移転新築

垂水駅前広場に新しい図書館を整備  
面積1,500㎡10万冊以上の蔵書(現在686㎡97,000冊)

### 垂水体育館の移転新築

垂水スポーツガーデン内に移転新設

### 垂水小学校の増改築

校舎等の建替え、校内のバリアフリー化

### 垂水駅前周辺のリノベーション

一般車ロータリーや歩行者空間の整備、駐輪場の設置

今後5年間の供給予定 ～令和2年度から6年度まで～

- ・ 神田町(垂水中央東地区第1種市街地再開発事業)
  - ・ 駅周辺の市営住宅跡地等の市有地を活用
- 約1,500人(約550戸)

事業項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7以降
垂水図書館		設計・工事		供用開始		
駅北側(東西) 一般車ロータリー		設計・工事		供用開始		
子育て支援拠点		協議・設計・工事		供用開始		
垂水体育館		設計・工事		供用開始		
垂水小学校			設計・工事			工事 運動場 整備完了 校舎供用開始
中核的医療施設			設計・工事			供用開始



今年度の所属委員会

経済港湾委員会 委員

経済観光局、港湾局、文化スポーツ局の所管事項についてチェックします。

未来都市創造に関する特別委員会 委員

三宮周辺・ウォーターフロント地区における都心の再生、潤いある都市空間の整備や新たな交通手段を含む総合交通体系の整備など、新たな時代の神戸のまちづくりに関する必要な調査を行います。

神戸市上下水道事業審議会 参与

神戸市水道事業および下水道事業に関する重要事項について、調査・審議を行います。

令和2年第1回定例市会(2月18日～6月26日)

本会議にて一般質問を行いました〔2020年6月26日〕

新型コロナウイルス感染症の影響や現状を考慮しつつ、経済施策や子どもたちへの支援について、また西区役所玉津庁舎に関して、以下4点の質問・提案を行いました。

1. ウォーターフロントにおける夜型観光の誘致について

Q かし

我が会派では、宿泊を伴う夜型観光施策として「神戸夜市」の実施をこれまで訴えてきました。

新型コロナウイルス感染症の第2波の影響や社会経済活動の進捗状況、観光を伴う人の移動など不透明な部分もありますが、今後のwithコロナ時代を踏まえつつ、屋外かつ夜型観光イベントの誘致、そして開催に至ることができれば、市内の事業者の支援に加え、神戸の夜のにぎわいも生み出すことができると考えますがいかがでしょうか。



A

久元市長

以前からウォーターフロントエリアにおいて夜市を開催することについて指摘をいただけてきました。

ぜひ前向きに考えるべきではないかと考えており、民間事業者主体の夜型イベントとして検討してきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で開催には至っていませんが、ぜひこのウォーターフロントエリアで夜市を開催したいというふうに考えており、新型コロナウイルスの終息の状況を注視しながら、まずは期間限定で開催ができないか検討してまいります。

かし要望

候補地については、メリケンパーク、みなとのもり公園、しおさい公園などを考えています。またファーマーズマーケットなど神戸の農業を知っていただく機会や、市が支援しているキッチンカーも一堂に集約すればと思います。くれぐれも感染予防や第2波、第3波など十分意識をしていただきながら、この夜型観光の誘致を民間事業者と一緒に進めていってほしいと要望しておきます。

## 2. 水素エネルギー事業の今後の展開について

**Q1** **かじ** 神戸市は現在、水素関連事業の積極的な推進や水素サプライチェーン構築に向けた実証事業など、先駆的な取り組みを行っていただいています。今後の展開として、水素ステーションを増設し、利便性を高めていくことがより効果的ではないかと考えていますが、今後どのように政策を展開されるのか見解を伺います。



**Q2** **かじ** 水素ステーションの誘致に関して、交通局の中央営業所は、営業所の規模を考慮しても土地に十分な余裕があります。一般車にもバスにも対応した水素ステーションの設置場所として好立地ではないかと思っておりますが、候補地の一つとしていかがでしょうか。

**かじ  
要望**

公有財産の有用な土地活用という視点も十分考慮し検討してください。神戸市が強く取り組んでいる水素スマートシティ神戸構想、この理念を忘れずに、この熱を消すことがないように取り組んでいってください。

**A1** **久元市長** 水素エネルギーの利活用について、水素ステーションの誘致が必要であるということは当然のことだと思います。今年度適地調査を開始し、調査結果を実効性あるものにするために運営事業者の掘り起こしを併せて行うこととしています。市としてもサプライチェーンの構築など、重要な未来の産業育成という観点からも進めてきており、誘致について全力で取り組んでいきます。

**A2** **寺崎副市長** 議員から具体的な場所の提示をいただきました。現在、市としても様々な可能性を考慮しながら、適地の検討を行っているところであり、しっかりとこの検討を深めてまいります。

## 3. 西区役所玉津庁舎の利活用について

**Q1** **かじ** 西区役所新庁舎は、令和3年度中に供用開始として、現在工事が進められています。西神中央全体のリニューアルを含め、西区の中心部がさらに活性化されていくことに期待しているところです。

一方で、現在の西区役所については、玉津支所として運営されることが決定していますが、今後の庁舎移転及び玉津支所開設に向けた具体的なスケジュールを伺います。また、区民からの意見・要望を受けた上で、玉津支所の具体的な機能など、今後の運用方針について現在までの検討状況を伺います。



**A1** **岡口副市長** 玉津庁舎については、区役所移転後も玉津周辺の住民の皆さまにとって、市民サービスが著しく低下しないよう支所を設置し、現在の西神中央出張所より取扱い業務を拡充することとしています。また、空きスペースの活用について、市民意見を踏まえ、地域福祉センターや多目的ホール、図書コーナー、学習室など、地域住民が利用しやすい施設を候補とする活用素案を策定しているところであります。

スケジュールについては、令和3年度中の西区役所移転に合わせて、現玉津庁舎に玉津支所の暫定窓口を開設、令和4年から5年度に改修工事、そして令和5年度後半には玉津庁舎全体でのリニューアルオープンを予定しています。



**Q2** **かじ** 玉津支所として新たに整備するに当たっては、バリアフリー対策や地域の拠点として魅力のある建物にリノベーションしていただきたい。そして誰もが訪れやすいような庁舎を期待しています。現在、各区役所に順次設置されている「おやこふらっとひろば」のような、子育て世帯をターゲットにする施設整備について考えはありますか。

**A2** **岡口副市長** 玉津庁舎の設計はこれからであり、できるだけ魅力ある住民の皆さんに受け入れやすいものになるようしっかりと議論していきたい。また、子育て中の親子が室内で安全に過ごせる居場所に対するニーズが高まっていることは承知しており、子育て中の親子が気軽に集い、語り、くつろげるキッズコーナーや学習室の設置など候補として検討しています。

**かじ  
要望**

この玉津支所の整備に関して、地元の住民の皆さんは注目し期待も寄せています。具体的な整備にあたって、区民や地元の皆さんの声をしっかりと吸い上げていただき完成に向けて進めてください。

## 4. 神戸っ子応援団事業について

**Q1** **かじ** 神戸っ子応援団は、家庭、地域、学校、神戸市が一体となって、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支え応援していく取り組みです。学校に求められるものが増えている一方、教職員の業務負担軽減も強く求められているなか、登下校の見守りや学習支援など、子どもたちの支援に関わる神戸っ子応援団の存在は非常に大きいと考えています。コロナ禍のなか、感染対策に取り組みながら学校生活を再開をしている現状において、学校現場を支える応援団の活動について、市としても後押しをしていく必要があると考えますが見解を伺います。



**Q2** **かじ** 市として、応援団関係者にアンケートを取っていただいております。苦勞として特に多いのは、事務書類の作成が非常に煩雑だということ、また構成団体間の調整や学校との調整などが多いということ。これら負担軽減や、連携・調整などについて、市から助言や後押しをしていただきたいと考えますがいかがでしょうか。

**A1** **寺崎副市長** 神戸っ子応援団の取り組みは、学習補助、特別支援学校の補助、部活動の補助、環境整備、見守り、安全確保など多岐にわたっています。withコロナの時代において、子どもたちが長い学校休業の期間を強いられてきましたが、再開にあたり子どもたちの見守りは非常に重要な課題になっていると考えています。市としては、活動のポイントや実践事例の紹介、財政面においても市独自で1応援団につき年間5万円を助成、またボランティア保険料の確保など行ってきました。withコロナの時代において活動を進めるにあたりご苦勞は多いかと思いますが、市としてもしっかりと取組を応援してまいります。

**A2** **寺崎副市長** 書類のために膨大な事務作業があるというのは、全く本末転倒の話でありますので、これについては大幅な見直しができるように早速対応したいと考えています。また、学校間の連絡・相談・調整について、優良事例であったり学校からのアドバイスであったり、様々なことで現場の苦勞が少しでも軽減されるように支援してまいります。

**かじ  
要望**

1人の100歩より100人の1歩で子どもたちを見守っていただけるように。そういう意味で、応援団が地域の子どもたちを思いながら、精力的に活動ができるような支援をお願いしておきます。



神戸市会のホームページから、かじ幸夫の一般質問の様子を動画で見ることができます！



# コロナ禍への適切な対応により、 市民生活の安全・安心を市当局に求める

私たち「こうべ市民連合議員団」は、コロナ禍の現状を踏まえ、多くの市民の皆様から寄せられたお声を聞かせていただきながら、久元市長ならびに関係当局に対して要望をしてきました。特に、緊急事態宣言解除後の中期的な対策として、コロナ感染の第2波を起こさせない取り組みや、Withコロナ時代に適応するよう市民生活の実態に即した対応策として、以下の施策を要望しました。



## 要望 ①危機管理体制について

災害時における避難所のあり方については、マスク、消毒液等の備蓄を確保する等避難所におけるウイルス対策を講じること



## 要望 ②医療産業都市神戸として

スーパーコンピューター富岳の活用や医療産業クラスターを活用して、コロナウイルス収束に向けた研究と広報に努めること  
神戸市民病院機構で働く看護師や看護補助者をはじめとした医療従事者を増強すること



## 要望 ③市民サービスの向上について

コロナ感染症対策を講じながら、生活が激変した市民の相談等に対応出来る職員体制と人員配置を図り、市民サービスを向上させること



## 要望 ④教育環境の整備について

学校再開時における児童生徒のケアを行う退職教職員等の人材を活用すること  
夏休み期間の短縮を想定し、熱中症対策として理科室・家庭科室等の特別教室や 給食調理室へエアコンを早急に設置すること  
児童生徒へ一人1台のタブレット端末を貸与する等、ICT 学習環境の整備を早急にすすめること

これら要望を受け、6月議会では神戸市新型コロナウイルス感染症対策緊急補正予算〔第2弾〕として、

今後は、コロナ禍への適切な対応として、

- ◆医療体制のさらなる強化
- ◆PCR検査体制の強化
- ◆学校現場におけるICT環境の推進

など対策の強化を求め、市民生活の安全・安心を築くべく市当局へ申し入れていきます。

- ①検査体制の強化及び医療提供体制の安定的確保
- ②市民生活の維持・支援と新しい生活様式への対応
- ③経済活動の維持・回復

を柱とする、一般会計・特別会計合計112億3千万円の予算を可決・成立させました。

皆さま気を付けて  
お過ごしください かし幸夫



新型コロナウイルス感染症情報&神戸市熱中症対策  
については、神戸市ホームページの情報もご参考に！



# 神戸市立 名谷図書館 来春3月24日開館予定!

～ 地下鉄名谷駅前 大丸須磨店4階 ～



完成イメージ 図書館エントランス



雑誌コーナー

キッズコーナー

毎週の休館日 **第1月曜日、それ以外の週は火曜日です!**  
 月曜日がお休みの方にも便利です  
 第1月曜日が祝休日の場合は、翌日以降の最初の平日が休館日となります

開館の時間帯

平日	午前10時～午後8時
日曜・祝休日	午前10時～午後6時

- 蔵書数は約7万冊(当初5万冊)、座席はさまざまなタイプを約120席ご用意
- 予約制による座席管理を市立図書館で初めて導入
- 児童書コーナーには親子で使える「おはなしの部屋」や「寝転びスペース」を設置
- 4階エスカレーターの横に「キッズコーナー」「新聞閲覧コーナー」を設置(両コーナーとも飲食可能、休館日も利用可能です)



名谷図書館 開館

クリック!

【市立図書館に関するお問い合わせ先】  
 神戸市文化スポーツ局中央図書館 ☎代表 078 (371) 3351

神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市議員

**大井としひろ**

自宅兼事務所 須磨区多井畑南町22-15 TEL・FAX 078-743-6155

- メールアドレス ooi@kobe-001.com
- 公式ホームページ http://kobe-001.com
- おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi
- ツイッター KOBE\_SUMA\_OOI

大井としひろ 検索



神戸市議員(須磨区)  
 建設防災委員会委員

# 大井としひろ 市会報告

VOL. 86  
 2020年 秋号



編集・発行: 立憲民主党神戸市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161

## 令和2年第二回定例市会9月議会開催 期間(9月18日～10月28日)

須磨区民の皆様いつもお世話になります。

今年は全世界で猛威を振るっています新型コロナウイルス感染症で神戸市も翻弄されています。

9月議会では、再度の感染拡大期に備え、医療提供体制の確保を進め市民生活・経済活動を回復させるべく、行政・議会が一体となってコロナ対策に全力で取り組んでいます。

9月18日から始まりました決算市会では、令和元年度の神戸市一般会計歳入歳出決算をはじめ各会計決算を審議のうえ承認し、閉会しました。

建設防災委員会が、9月23日及び10月22日に開催されました。また、決算特別委員会の第二分科会において、「建設局」「福祉局」に対し、質疑を行いましたので、以下のとおりご報告いたします。

### 建設防災委員会 危機管理室関係 9月23日

#### ○スパコン「富岳」で危険予知

#### Q 大井としひろ

最近の地球温暖化によって、非常に強い台風や豪雨が日本列島を襲っている。スパコン「富岳」を使って、危険予知に活用していただきたいが、見解は?

#### A 危機管理監

せっかく神戸に「京」、それからそのポストとして「富岳」が来ましたので、もっと活用しよう。非常にたくさんの分野がある中で、気象関係とか防災関係というのは、非常に大きなウエートを占めています。市民に身近な生命、それから身体、財産に関することですので、できるだけ「富岳」につきましても活用して、市民の皆さんに還元できるように検討してまいりたいと思います。

#### 要望 大井としひろ

「富岳」のセンター長は使う側の立場に立って「富岳」を開発したんだとおっしゃってられますので、有効に活用して、すばらしい報告をしていただきたい。



未完成の区間があり、道路ネットワークの効果が十分発揮されず、周辺道路の渋滞の問題ですとか、先ほどありました緊急車両の問題とか、様々な問題が生じておるといことは認識しています。

早急に未完成区間であります西須磨工区や多井畑工区、また多井畑西地区の整備を進めていくことが重要と、つなげていくことが重要というふうにご考えております。

現在行っております歩道整備の進捗を踏まえまして、西須磨工区の次の工事の進め方、これにつきまして、検討を加えまして、また丁寧な説明にも努め、整備を進めていきたいと考えております。

#### ○防災対策について

#### Q 大井としひろ

レッドゾーンの中には、市民の皆さんが多く集まる公共施設、あるいは地域の集会所など、影響を及ぼすような箇所は最優先で対応すべきだと考えますが、いかがでしょうか。中には、建設局が所有の私有地にレッドゾーンも、その下には集会所があるというようなところもあるようです。見解は?

#### A 建設局担当部長

御指摘の公共施設、それから集会所等の多くの方が入られる施設、そういったものは優先度が高いんじゃないかという御指摘、これ一定そうかと思っております。

やはり様々な事情があるかと思っておりますので、地域の状況、それから現地の状況、周辺の状況、様々踏まえまして、優先度を付けて計画的に対応していくことを考えたいと考えております。

### 決算特別委員会 建設局 9月30日

#### ○須磨多間線について

#### Q 大井としひろ

西須磨工区、多井畑工区、今回URから譲渡された多井畑西地区の整備の進め方は?

#### A 建設局副局長

須磨区南部と垂水区北部及び西区方面を結ぶ主要幹線道路であり、神戸市を支える重要な路線です。

#### ○県民緑税について

#### Q 大井としひろ

県民緑税については、平成18年度から始まりまして、平成30年度までの間で神戸の市民の皆さんが納めた緑税は約69億円、法人が約27億円、併せて96億円が神戸市域の皆さんから県に納付されております。

しかしそのうち、神戸市神戸市域に投下された県民緑税は、災害に強い森づくりに約6億6,000万円、県民まちなみ緑化に約10億円、16億6,000万円でございます。

やはりこれだけ市民の皆さん方が拠出した緑税が神戸に還元されていないというのは、おかしなことだと思いますし、特に最近のこの風水害とかいろんな状況の中で、この県民緑税をやはり神戸市にもっと投下していただくように強く要望すべきと考えるわけですが、見解は？



**A 建設局担当部長**

神戸市に十分戻ってきてないのではないかというような御指摘も多々ある中、平成28年度からの第3期におきましては、六甲山の広葉樹林を対象に、神戸市自らが実施する事業、都市山防災林整備というものを新たに新設をしていただいております。現在は、その都市山防災林整備という仕組みを主に活用して、六甲山系の広葉樹林の現地調査、あるいは設計を行いまして、危険木や大径木の伐採などの整備を順次行っておりまして、森林の災害防止機能を向上を図っているところでございます。

また、昨年度からは、国のほうから災害防止等を図り、森林整備等に必要安定財源を確保するというための森林環境贈与税というのが始まっておりまして、こちらの配分も併せて始まってきております。現在は、この県民緑税事業とそれらを組み合わせながら、効果的な森林整備を進めていきたいと考えているところでございます。

○須磨海浜公園について

**Q 大井としひろ**

今後整備を行っていくのは、選定された事業者であり、全ての市民にとっても利用しやすい魅力ある施設としていくためには、事業者任せにせず、建設局が積極的に調整役を果たす必要があると思います。例えば、毎日多くの近隣の方が海浜公園でラジオ体操を行っておられます。こういう方々の声というのも十分聞いていただいて、整備をしていくことも大事だと思います。

また、海浜公園に隣接して須磨海岸がございます。建設局、経済観光局に加えて、港湾局が連携して一体を整備することで本当に市民の方にとってよい施設になると思います。

さらに事業者が日々海浜公園を利用される地域の方々の思いを理解していただいて、運営していくことが市民に愛される施設となるんだと思います。本事業をどのように進めていこうと考えているのか？

**A 建設局長**

須磨海浜水族園、海浜公園の再整備につきましては、建設局と経済観光局と、それと再整備の事業者が連携して令和6年3月の全面開園に向けて、事業に取り組んでいます。

市が窓口となり市民への説明会を開催し、再整備事業者と共同で関係機関と調整を行っているところでございます。

既存の利用者がこの公園にはたくさんいらっしゃいます。現在公園内におきましては散歩やランニング、遊具、ボール遊びなど、様々な利用をされております。中でも毎朝、ラジオ体操を行っている団体は、公園内の美化活動にも御尽力をいただいております。こうした既存利用者の声を反映させていくことは非常に重要だと考えております。

昨年度は自治会連合会等に対して、説明を実施しました。今年度は周辺の自治会や子育てサークル、ラジオ体操の代表者等に対して事業の内容の説明や園地部分の整備の方針について説明を行い、意見を伺ったところでございます。

Opark-PFIについて

**Q 大井としひろ**

パークPFIを使って奥須磨公園に保育園、喫茶店、レストラン等を誘致することについて、見解は？

**A 建設局担当局長**

奥須磨公園は、自然環境も豊かで非常にポテンシャルの高い公園だというふうに思っております。

今年度この民間活力導入につきましては、パークPFIをはじめとしますいろんな民間からの提案をサウンディング調査を実施する予定にしております。その中でもこの奥須磨公園についても民間の進出意欲等について、話を聞いていきたいというふうに考えております。



決算特別委員会 福祉局 10月7日

○生活保護について

**Q 大井としひろ**

今般のコロナ禍では、住居確保給付金や生活福祉資金貸付けの申請が急増したほか、4月、5月を中心にコロナ関連の生活保護申請に関する相談も増加したと聞いております。ある区では、窓口対応が追いつかず、ケースワーカーも窓口対応をして急場をしのいだとのことも聞いております。

令和2年1月以降、有効求人倍率は大きく低下しており、神戸地域では令和元年12月に1.69倍であった有効求人倍率は令和2年6月には1.05倍になるなど、今後、失業、減収により生活保護申請が増大する可能性が考えられるわけですが、多くの申請に対応できる体制が神戸市では整っているのか？

**A 福祉局長**

4月は一時的に増大いたしました。その際には、生活保護担当のケースワーカーも専門的な知識を活用して応援するというような対応を取ってしのいできたというのも事実でございます。

5月以降は例年並みの相談件数には落ち着いており、またそれに伴います申請状況につきましては、3月から5月にかけては、前年同月比較では微増というような形でございまして、それ以降は例年並みに落ち着いているという状況でございます。また、生活保護の受給世帯につきましても、9月現在、コロナ禍の影響による大幅な増加には、今のところですけれども、つながっていないというような状況でございます。生活困窮者支援といたしまして、住居確保給付金であったり、緊急小口資金貸付け等の施策や、生活保護の申請に至っていない世帯というのがたくさんあるというふうに我々は思っています。

このままの状況が続きますと、生活の立て直しが困難な世帯が増え、今後、生活保護の相談であったり、申請に結びついていく想定もしています。

また、生活保護の相談と生活困窮者自立支援に係る相談を同じ窓口で対応するというような工夫によりまして、相談者のニーズに合わせて生活保護から困窮者、困窮者から生活保護と、適宜相談内容に合わせて対応することも実施してきております。

相談件数の増加を注視して、くらし支援窓口の体制についても、今後の増加を見据えて検討していかなければならないと思っています。

○精神保健福祉の充実について

**Q 大井としひろ**

精神障害者の数は年々増加しており、支援の充実は本人やその御家族にとって喫緊の課題となっております。過去に数度にわたって団体から陳情を受けておられますように、治療費の自己負担が大きな課題となっている中で、本市が精神入院医療費助成制度を創設したことは評価しております。現在の実績とさらなる自己負担の軽減に向けた取組についてお伺いしたいと思います。



**A 福祉局長**

御指摘のように、精神障害者手帳の所持者数というのは年々増加の傾向にあり、支援の充実が必要であるというのは我々も考えているところです。また、家族会等からの陳情や要望を踏まえまして、平成30年度には神戸市精神保健福祉施策懇話会という会を立ち上げまして、様々な施策の在り方について検討を行っています。懇話会のほうからは、精神障害者が早期に適切な医療を受け、地域での生活に復帰できるよう、精神科入院医療費の本人負担額軽減を検討するよう提言を受けまして、精神科病床に入院する神戸市民で90日以内の入院をした場合、1年度中に1回、償還払いで助成するという、精神入院医療費助成制度を開始したところです。

令和2年の2月1日から9月の30日までで助成件数は150件でございます。助成額でいいますと266万円程度です。

精神疾患を有する人が早期に適切な医療を受けることにより早期回復につなげ、また入院の長期化を避ける、そして本人の医療費負担の軽減につなげていくという前提の下で、新たな取組という前に本制度をまず十分に利用していただくというのが必要というふうに思っています。増え続けている対象者に比べて利用実績というのはまだまだ少ないというふうに思っていますので、こういった制度を漏れなく利用していただくように十分に周知徹底を図っていきたく考えています。

○しあわせの村のリニューアルについて

**Q 大井としひろ**

開村から30年少し経過し、当時と比べて社会の状況が大きく変化する中で、総合福祉ゾーンとして、さらにステップアップしていくために思い切った施策が必要であるが、昨年度に開催した「しあわせの村」リニューアル検討有識者会議を踏まえ、今後、具体的にどのような施策を実施していくのか？

**A 福祉局長**

提言の中では、村で福祉のイノベーションを起こすということによって様々な人々が交流して、いわゆるソーシャルインクルージョンというのを実現していく、またそれらの成果を全国に発信していくことを目指していくべき、広げていくべきということが示されています。

具体的な取組としては、高齢者や障害者も参画できる仕事づくりや、そしてパラスポーツの振興、先日も神戸パラリレーカーニバルというのが新たに整備されました多目的運動場で開催されたところです。

認知症予防、そして共生の推進、子供の成長支援、動物との触れ合いを通じた交流、そしてまた30年たっていますから施設のリニューアルというようなことが示されていまして、今後はこういった提言に沿った施策を進めていきたいと考えているところです。

**要望 大井としひろ**

以前は、神戸市の精神障害者家族会の皆さんも「しあわせの村」内でいろんな取組をされておられました。物品のあっせんなど、施設をお借りして行っておりました。いつからか、家族会の皆さんもばらばらになり、最近では「しあわせの村」での活動もどのような状況になっているのかちょっと私も不確かなところもありますけれども、ぜひ身体・知的・精神の障害者の皆さん及び御家族、あるいは小さな幼児や小・中・高、大学生、そして若者、中高年、高齢者、全ての皆さんと一緒に働ける、参加できる、「ごちゃ混ぜのしあわせの村」に是非リニューアルをしていただいで、私もぜひ行きたいと思っています。うちのおばあちゃんや弟と一緒にいきたいと思っています。是非よろしく願いいたします。

